

北海道知事

高橋 はるみ 様

北海道におけるグローバルレベルのMICE都市確立に向けた
受入施設の整備・促進に関する要望書

北海道経済連合会
北海道商工会議所連合会

平成27年12月14日

北海道におけるグローバルレベルのMICE都市 確立に向けた受入施設の整備・促進に関する要望

国際会議や展示会等MICEは単なる観光の延長線ではなく、ビジネス客や研究者を呼び込むことでビジネス機会やイノベーション創出に繋がる一大ビジネスイベントで、同時に国内外に向けた貴重な情報発信の場である。そして地域に直接的な経済波及効果をもたらすほか、地域ブランド力の向上や観光を含めたリピーターの獲得にも寄与する。近年、アジアをはじめ多くの国がMICE、とりわけ国際会議の誘致に官民を挙げ取組みを増しており、都市間では勝ち残りをかけた熾烈な国際競争が繰り広げられている。

政府は本年6月「観光立国実現に向けたアクション・プログラム2015」を閣議決定し、訪日外国人観光客2,000万人時代の早期実現に向けCIQ体制の強化など各種方策を決定した。一方、北海道はこれまでコンベンション誘致促進事業に取り組んできており、札幌市では「グローバルMICE強化都市」指定を受ける（本年7月）等、今後のMICE誘致・開催に弾みがつくものと期待される。

北海道においては「さっぽろ芸術文化の館（札幌市中央区北1条西12丁目）」が大型MICE施設として利用されてきたが、老朽化のため2018年度を目途に営業を終了、解体される。このため、受入施設の整備は喫緊の課題である。MICEには都市の魅力に加え、会議・ホテル・商業等の施設がコンパクトに纏ったエリアにあるなど、利便性の高さが決定の条件となる。

これらを総合的に考慮した場合、北海道においては「札幌市都心部」にMICEの中核をなす新たな大型会議施設を建設することが望ましいと考え、以下を要望する。

要望項目

1. 国際会議等の北海道への誘致促進に向けた取組みを強化すること。
2. 札幌市が今後、計画・推進する新たなMICE拠点について、早期の整備に向け、働きかけ（支援・連携）を行うこと。
（経済界では、札幌市に対し「札幌市都心部」に新たな受入施設の整備・促進を要望しております。）

平成27年12月14日

北海道経済連合会 会長 大内 全

北海道商工会議所連合会 会頭 高向 巖